

平成 30 年度飯山市美術館運営協議会（第 2 回）

資 料

平成 30 年度 飯山市美術館事業報告 写真資料

1 常設展示（後期） 岩上隆静千曲川シリーズ（14点）展示風景 ※現在展示中（H31. 2/26 まで）



2 ギャラリー展『学校にある作品あれこれ展』（H30. 7/7～8/19）展示風景



3 企画展『米林雄一展 —宇宙への眼差し—』（H30. 9/1～11/4）開会式及び展示風景



『米林雄一展』(H30. 9/1~11/4) 展示風景のつづき



米林雄一展鑑賞ワークショップ開催風景 (H30. 11/3) 米林氏の説明を聞く城南城北中学校美術部員



4 ワークショップ『土から作った絵具で絵を描こう!』(H30. 7/28)





米林雄一彫刻展 飯山市美術館



宇宙の仕組みや成り立ちを模倣したような作品が並ぶ

宇宙に潜む不可視の規則

太陽系の惑星が6個しか知られていなかった頃、ドイツの天文学者ヨハネス・ケプラー(1571~1630年)は、その6という数は正多面体から種類しかないことと関係があるので

はないかと考えた。実際には違っていたが、宇宙には何か造形的な規則があるかもしれないという考えは、天文学者だけでなく美術家も魅了するようになった。



奥は「微宇宙」(245×170×20㍉)、手前は「微宇宙音」(35×305×120㍉)。ともに制作は1992年、材料は木や鉛など

「宇宙」

そんな美術家を紹介する「米林雄一彫刻展―宇宙への眼差し」が、11月4日まで飯山市美術館で開かれている。米林雄一さん(76)は上高井郡小布施町に生まれ、平瀬田中賞(岡山県井原市主催、1987年)などを受

けた。初期から近年までの約80点が今展に並ぶ。ここに掲載した「微宇宙」(「微宇宙音」は代表作の一組。座標が刻まれた天球や地球を思わせる造形だ。衝突する二つの銀河のようでもある。米林さんの作品には、しばしば円盤状や半円盤状の形が登場する。「UFO」ではないけれども、何か超自然的な存在が僕らの眼前に立ち

立ちはだかる超自然的な存在

だかっている、というありさまを表そうとして「そんな形が生まれてきた」と語る。米林さんは東京で生まれ、富山で育った。金沢美術工芸大、東京芸術大大学院で彫刻を専攻する一方、登山や小屋でのア

ルバイトに熟中。今工の光がない山中で夜、星空を見上げた時の心細さや「僕も広大な宇宙の一部だ、と感じた喜び」が表現への志に結びついたという。東京芸術大と宇宙航空研究開発機構(JAXA)による共同研究の一環「宇宙エレメンツ」(2008年)の代表研究者も務めた。国際宇宙ステーション内で乗船員に小粒粘土像を作ってもらい、重力と造形の影響関係を調べた実験で、その概要は今展でもパネルで紹介されている。

大作には木彫が多いが、細い金属の棒だけで多面体の構造を組み上げた作品もある。ケプラーを記号が連想したゆえんだ。もし造物主という存在が宇宙を創造したなら、それはなぜか。天文学者のように彫刻家も、自然の造化で満たされた宇宙に「人間の造化」を付け加えることで造物主の意図に迫ろうとするのかもしれない。



初期の木彫「GRADUALLY(漸進)」(1966年) 右IIを眺める米林さん

(植草学)



創造的な大型作品が展示されている

# 米林雄一彫刻展

飯山市美術館  
11月4日まで

飯山市美術館は、企画展「米林雄一彫刻展―宇宙への眼差し―」を11月4日まで開催している。

米林さん(1942年生まれ、東京都出身)は金沢

美術工芸大学彫刻科在籍中から二紀展を発表の場とし、数々の賞を受賞。東京藝術大学教授を退官後は小布施町にギャラリーを兼ねたアトリエを構え、東京と長野を拠点に創作活動に励んでいる。

今回展では1960年代から半世紀以上にわたる創作活動の軌跡を約80点におよぶ作品で紹介。「宇宙を

通して人間の本質をみつめてきた米林芸術の世界観に是非ふれていただきたい」と来場を呼びかけている。

開館時間は午前9時から午後5時。月曜日休館。入館料は大人300円。問い合わせは同館 ☎0269・62・1501へ。

# 宇宙通し人間の本质を

飯山市 美術館 **米林雄一彫刻展が開幕**

飯山市美術館で1日、平成30年度企画展「米林雄一」が始まった。ことし11

月4日まで。

米林さんは東京藝術大学名誉教授で日本美術家連盟

・二紀会など理事。木や金属、セラミックなどで宇宙的なイメージを彷彿(ほうふつ)させる彫刻を創り続けていた。今回、1960年代から現在までの、60年近くに及ぶ創作活動の軌跡を、80点余りの作品で紹介する。



オープニングセレモニーの後、市長らに作品を説明する米林さん(向かって右から3人目)

同日の開会式で足立市長は「野尻湖に別荘をもち、北信地域で活動する中で、飯山小学校で特別授業をしていただいた。今回、宇宙をテーマに作品展が行われるが、JAXAとの共同研究として宇宙ステーションで粘土を使い制作したひとがたが展示されている」とあいさつ。

米林さんは「地域は今、高齢化が進み、住民1人ひとりの力が問われている。人づくりは地域や家庭で優しい心を育むこと。私は疎開体験の中で労働を通じて結び付いている家族を知った。飯山展を機にまた、新しいものを創出していきたい」と話した。その後、米林さん、市長らによって、テープカットが行われ、開幕が宣言された

展示される作品はセメントや木材、鉄、真鍮、ブロンズ、アルミニウム、ステンレス、セラミック、紙、鉛筆など、多彩な材質を使った、大きさも様々な全86点。粘土を使った「宇宙モデリングひとがた」なども展示される。

利用推進を目的としたパイロットミッションのうち、紙粘土を使って宇宙飛行士が「ひとがた」を制作する芸術創作活動「宇宙モデリング」を提案し、2008年に「希望」日本実験棟で実施された。昨年11月に、飯山小学校で、宇宙で使ったものと同じ粘土で「ひとがた」を制作するワークショップを開いた。

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
4月	885	827	933	633	630	970	780	975	825	725	693
5月	515	505	425	821	341	504	620	722	354	275	321
6月	349	215	256	454	432	455	269	777	556	169	146
7月	1,033	464	655	753	579	510	903	459	377	266	354
8月	521	152	849	731	844	716	834	494	303	1409	306
9月	595	617	978	961	787	513	822	917	828	2968	1389
10月	2,735	2,372	2,950	2053	1608	1600	1189	1429	1422	2402	735
11月	1,070	506	723	393	483	563	486	514	496	1012	288
12月	80	196	176	39	139	238	171	137	163	73	139
1月	61	57	60	178	63	63	118	190	109	106	89
2月	114	65	70	138	179	151	120	206	149	83	
3月	77	112	53	146	269	215	452	199	194	159	
合計	8,035	6,088	8,128	7300	6354	6498	6,764	7019	5776	9647	4460
入館者内訳(人)					H9～累計	35,905	42,403	49,167	56,186	61,962	71,609

大人	1,024	684	1,142	1127	1282	1104	1199	1009	931	3376	
小中	32	16	32	22	22	23	51	30	17	141	
大人団体	716	699	975	592	337	276	179	202	270	238	
小中団体	210	251	299	231	278	114	112	102	122	114	
無料	3,866	2,739	3,789	3532	3156	3235	3006	3390	3182	4275	
大人共通	856	561	640	557	556	337	258	408	230	288	
小中共通	22	45	14	24	23	7	11	18	20	3	
大人団体共通	271	361	343	398	247	96	131	221	42	122	
小中団体共通	1,038	732	894	817	453	170	460	349	262	386	
4館共通大人						1030	993	1227	664	643	
4館共通小中						24	41	27	13	8	
4館共通団体大人						82	113	36	43	15	
4館共通団体小中						0	210	0	0	38	

入館料合計	815,870	635,070	859,570	754,540	699,550	779,300	820,540	830,510	604,150	1,382,410	
-------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	-----------	--

開館日数	299	300	299	273	300	299	305	299	302	295	300
------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

平成 31 年度飯山市美術館企画展  
『(仮称) 木原正徳展』開催概要 (案)

- 1 企画展名 『(仮称) 木原正徳展』 ※副題は検討中
- 2 開催趣旨 飯山市出身山形市在住の画家・木原正徳氏 (1958～) の作品展を開催します。  
木原氏は武蔵野美術大学を卒業後、二紀展への出品と個展開催を継続しながら他の選抜展などで数々の賞を受賞し、今日に至っています。  
木原氏の作品は、抽象化あるいは半抽象化した人や植物の形を構成することによって描かれた現代絵画ですが、その色彩は油絵の具のみを使用しているにもかかわらず、アクリル絵具よりも鮮やかさを感じさせる快活な印象があります。  
今回、飯山市美術館では、主に最近 10 年間の間に制作され、二紀展で発表された大作そして個展で展示した中小作品を一堂に展示し、木原作品の魅力を堪能できる機会とします。
- 3 出品作品 二紀展出品作品 200 号大 10 数点及び小品 20～30 点 ※詳細は相談中
- 4 主催 飯山市教育委員会
- 5 後援 信濃毎日新聞社、北信ローカル、北信濃新聞社、公益財団法人八十二文化財団、SBC 信越放送、NBS 長野放送、TSB テレビ信州、abn 長野朝日放送、i ネット飯山、飯山商工会議所、飯山市芸術文化協会、信州いいやま観光局
- 6 会期 平成 31 年 9 月 1 日 (日) ～11 月 4 日 (月・祝) \*開館日数 56 日
- 7 会場 飯山市美術館 1 階展示室・ロビー・2 階ギャラリー
- 8 開館時間 9:00～17:00 ※入館は 16:30 まで
- 9 休館日 毎週月曜日  
※ただし、9/16・9/23・10/14・11/4 は開館し、9/17・9/24・10/15 は休館
- 10 入館料 大人 300 (200) 円、小中学生 200 (100) 円 ※ ( ) 内は団体料金
- 11 関連行事 ・9 月 1 日、午前 9 時から美術館ロビーにおいて開会式を行います。  
・会期中に作家によるワークショップまたはギャラリートークを開催します。
- 12 連絡先 飯山市教育委員会 文化振興部 文化振興部長 (兼) 美術館長 栗原良満  
担当：美術館係長 井端伸介  
連絡先：飯山市美術館 〒389-2253 長野県飯山市大字飯山 1436-1  
TEL/FAX 0269-62-1501



## 木原正徳 (きはら まさのり) 略歴

- 1958年 長野県飯山市に生まれる  
1977年 飯山北高等学校卒業  
1981年 武蔵野美術大学卒業  
二紀展《93、98 同人賞、01 安田火災美術財団奨励賞、03 会員推挙、04 会員賞、05 田村賞、07 宮本賞、09 委員推挙》  
1986年 伊藤廉記念賞展  
1987年 東京セントラル美術館油絵大賞展《93》  
1996年 春季二紀展《東京セントラル美術館賞》  
2000年 別府現代絵画展《01》  
2000年 青木繁記念大賞展《わだつみ賞、01》  
2003年 損保ジャパン美術財団選抜奨励展(東郷青児記念美術館)  
2008年 木原正徳・野口俊文二人展(飯山市美術館企画)  
2008年 文化庁/芸術家海外留学特別派遣(イタリア/ミラノ)  
2011年 「生まれるイメージ」(山形美術館企画)

### 個展

- 銀座スルガ台画廊 《98、00、09》  
八十二文化財団ギャラリー 《00》  
銀座東和ギャラリー 《06》  
銀座画廊宮坂 《11》 他、14回  
現在 二紀会委員、東北芸術工科大学教授



ひとかたち 《野の移ろい》



ひとかたち 《宙の声・地の花》



ひとかたち 《野の移ろい》

## 美術館企画展及びギャラリー展入館者数

年 度	企 画 名	展示期間(開館日数)	入館者数
H9 1997 9,654人	●開館記念長谷川青澄展 第一期	5/3～6/1 (26日)	2,039人
	●開館記念長谷川青澄展 第二期	6/4～6/29 (23日)	1,611人
	●宮澤鉄夫企画コーナー	11/1～11/30 (27日)	1,416人
H10 1998 10,944人	●見つめる心/時空を超えた静寂 相原求一朗展	4/29～5/31 (30日)	2,410人
	●長谷川青澄展 第三期	10/10～11/23 (39日)	2,079人
H11 1999 12,101人	●含翠会展ー長谷川青澄主宰の画塾に集う院展作家たちー	4/29～6/6 (36日)	2,245人
	ロビー展示 高橋正義 陶器コレクション	10/5～10/17 (13日)	(886人)
	●斎藤一郎展 beyond the paper	10/24～12/5 (38日)	2,414人
H12 2000 13,713人	●佐藤武造展 漆絵に至るまでの武造の歩み	4/29～6/4 (32日)	2,203人
	●駒村久彌展 ー久彌の見たふるさとの雪ー	9/30～10/29 (26日)	2,902人
	●特別企画展 白隠禅師ー仏道者からの21世紀への提唱ー	11/3～11/19 (15日)	3,709人
H13 2001 9,772人	異文化交流事業 ギャラリー インド仏画セミナー	7/7～7/8 (2日)	(338人)
	●ユーモアの中の喜怒哀楽 浦野吉人展	9/29～11/18 (44日)	4,421人
H14 2002 9,060人	●岩上隆静展 風化した時間・封印された記憶	9/29～11/10 (38日)	3,631人
	ギャラリー 小山オサム 油絵作品展	6/4～6/30 (24日)	(1,145人)
H15 2003 8,200人	ギャラリー 日本画 吉越隆師	4/30～6/30 (52日)	(1,431人)
	●河野文夫展 無垢の美の輝き	9/27～11/16 (45日)	3,252人
	ギャラリー 柳澤秀紀 「日本の風景と花」展	9/27～11/30 (53日)	(3,571人)
	ギャラリー 馬場剛史作品展～白と黒の風景～	6/13～8/22 (61日)	(465人)
H16 2004 13,739人	ギャラリー 五郷分校作家展	1/25～3/28 (54日)	(1,609人)
	●市制50周年記念 飯山の美術家展	9/17～11/14 (50日)	5,415人
	●市制50周年記念 「長野絹子と青い目の人形」展	11/26～12/5 (10日)	4,342人
H17 2005 入館6,883人	ギャラリー いとうまきイラスト新作展	4/26～5/22 (24日)	(515人)
	ギャラリー 関智生展 Through the window	5/24～6/26 (30日)	(488人)
	ギャラリー 岡田千春油絵作品展「達磨九年でおれ一生」	6/28～7/18 (19日)	(447人)
	ギャラリー 丸山高司展「描くことは 生きること」	7/20～8/7 (17日)	(385人)
	ギャラリー 内田寛展	8/9～9/4 (24日)	(414人)
	●企画展「画人長谷川青澄追悼展」	9/17～11/13 (50日)	3,252人
H18 2006 開館299日 入館8,277人	ロビー展示 100年をふりかえるオビッポスター展示	12/24～3/31 (73日)	
	ギャラリー 原田卓三展	4/23～5/21 (24日)	(798人)
	ギャラリー 酒井和子展ー観音の愛にひかれてー	5/23～6/17 (23日)	(962人)
	●相原求一朗展 大地への慈しみ	9/23～11/5 (38日)	3,054人
	ロビー展示 岡田千春寄贈作品展示	2/7～3/31 (46日)	
H19 2007 開館299日 入館6,478人	ギャラリー 第4回飯山和紙研究会作品展示	11/11～1/21 (57日)	(600人)
	ギャラリー 丸山高司作品展示	1/23～3/15 (45日)	
	●企画展「画人長谷川青澄追悼展」	9/17～11/13 (50日)	3,252人
	○彫刻家 箕口博ロビー展	3/1～3/23 (22日)	285人
H19 2007	ギャラリー 岡田千春寄贈作品展示・村山弘寄贈作品展示	4/17～7/14 (76日)	
	○ギャラリー企画展 小林起一追悼展～今生物語～	7/21～8/26 (32日)	989人
	●長谷川青澄挿絵原画展ー古典文学を描くー	9/29～11/11 (38日)	2,495人

## 美術館企画展及びギャラリー展入館者数

年 度	企 画 名	展示期間(開館日数)	入館者数
H20 2008 開館 299 日 入館 8,035 人	●木原正徳・野口俊文 二人展 —郷土出身画家の近作を中心に—	6/28～8/17(44日)	1,567人
	○ギャラリー企画展 柳澤秀紀イラスト原画展	10/1～11/3(30日)	2,918人
	○長谷川青澄ギャラリー展 —故郷に残された小品を中心に—	11/7～11/27(18日)	686人
H21 2009 開館 300 日 入館 6,088 人	○佐藤武造ギャラリー展 美術館収蔵作品及び佐藤昭夫氏所蔵作品併せて 20 点	4/14～7/8(74日)	1,143人
	○ギャラリー企画展 飯山北高校美術部展	9/5～9/17(11日)	228人
	●五郷分校の作家たち ～廃校をアトリエとした7年～	9/22～11/3(38日)	2,810人
H22 2010 開館 299 日 入館 8,128 人	○小林起一ギャラリー展 美術館収蔵作品及び小林良太氏所蔵作品併せて 9 点	4/13～7/15(81日)	1,025人
	○ギャラリー企画展 北信濃の四季写真展 —関修が写すふるさと— 写真 47 点	7/17～8/22(32日)	984人
	○ギャラリー企画展 城南・城北中学校美術部展	11/13～12/19(32日)	531人
	●北信濃に原風景を見た美術家たち 市出身あるいはゆかりの美術家 11 人 絵画、彫刻 59 点	9/4～11/7(56日)	4,282人
H23 2011 開館 274 日 入館 7,300 人	○ 画人長谷川青澄の世界展 —珠玉の院展出品作品を中心に—	4/28～5/29(28日)	952人
	○ギャラリー企画展 奥信濃の自然と人 —池田春男写真展—	4/28～5/29(28日)	952人
	○ギャラリー企画展 子どもたちへ展—碓井昭男 作陶展—	7/5～8/3(26日)	825人
	○ギャラリー企画展 書家 金木寿遷 —行雲流水、書一筋の道— 遺墨展	8/7～9/11(31日)	867人
	●箕口博展 虚の世界に遊んだ人	9/17～11/6(44日)	3156人
	○ギャラリー企画展 新収蔵品展	12/20～1/13(17日)	39人
	○ギャラリー企画展 城南・城北中学校美術部展	1/15～2/15(27日)	216人
H24 2012 開館 300 日 入館 6,354 人	○ギャラリー企画展 川口和平写真展 —奥信濃 みゆき野四季光彩—	4/29～5/27(25日)	370人
	○ギャラリー企画展 —千曲みずゑ会 20 周年記念展— ふる里光彩	7/12～7/26(13日)	115人
	○ギャラリー企画展 青木勇治個展 —これから—	7/28～8/25(25日)	822人

人	●北信濃逍遙の画家たち —生きること描くこと— 市内在住の画家7人	9/8～11/4(50日)	2595人
	○ギャラリー企画展 城南・城北中学校美術部展	11/11～12/16(31日)	331人
	○ギャラリー企画展	4/2～4/27(20日)	960人
H25 2013     開館 299日	“そのとき”をうつす—山本直治が飯山に通った理由—		
	○ギャラリー企画展 新幹線開業前イベント交流の歴史と鏡展	5/1～6/16(41日)	648人
	○ギャラリー企画展 リアルイラストくらぶ展 アマチュアアーティストたちの奮闘記	6/23～7/7(13日)	283人
	○ギャラリー企画展 小林野々子「月あかりとシメリケの国展」	7/28～8/25(25日)	740人
	●—祈りの風景— 柴田長俊展	9/7～11/4(51日)	2187人
	○ギャラリー企画展 城南・城北中美術部展	11/10～12/15(31日)	520人
	○信濃美術館移動展	12/17～12/26(9日)	172人
H26 2014	○ギャラリー企画展 追悼 岩上隆静展 千曲川への思い —上流から下流まで213.5kmふるさとの四季—	4/15～6/1(42日)	980人
	○ギャラリー企画展 藤巻翔写真展 Shadows On the Trails	7/19～8/23(31日)	1099人
	●ガジン長谷川青澄没後10年記念展 わたしは売るための絵は描かない	9/20～11/9(44日)	1797人
	○城南・城北中学校美術部展	11/16～12/21(31日)	379人
H27 2015	●Beyond the paper やまふところ和紙   齋藤一郎展	4/18～6/28(62日)	1846人
	○ギャラリー企画展 栗田貞多男写真展	9/19～10/16(44日)	1381人
	○ギャラリー企画展 城南・城北中美術部展	10/18～11/8(19日)	585人
H28 2016	●駒村久彌展—画業70年の軌跡—	9/3～10/30(50日)	2270人
	○ギャラリー企画展 馬場剛史挿絵作品展	11/4～12/4(28日)	556人
	○特別展 長谷川青澄生誕100年記念展	11/3～2017/4/20	



	○城南・城北美術部展（文化交流館なちゅらにて展示）		不明
	○安原半田展	2/18～3/20(27日)	236人

H29 2017	●正受老人と白隠禅師展 この人なくして白隠なし	8/2～9/10(35日)	2280人
	●中川岳二展 ～木々の色々～ wooden colors	9/16～11/12(50日)	5418人
	○小黒三郎組み木館ズートピア信州展	9/16～11/12(50日)	〃
	○城南・城北美術部展（文化交流館なちゅらにて展示）	12/9～12/16(7日)	
H30 2018	○学校にある作品あれこれ展	7/7～8/19(38日)	587人
	●米林雄一展 —宇宙への眼差し—	9/1～11/4(56日)	2261人
	○佐久間雲窓展	3/2～4/7(32日)	
H31 2019	○こぶしの会（仮称）	4月上旬予定	

## 作家一覧【現役】

\* 作家名50音順

\* 2018/2/20現在 飯山市美術館

No	作家名	種別		出身地	所在地	展示実績		備考	収蔵 有無
						企画展	ギャラリー展		
1	青木勇治	絵画	油彩	飯山市	長野市		H24 個展		—
2	池田春男	写真	人物/風景	飯山市	神奈川県		H23 個展		—
3	いとうまき	絵画	イラスト	飯山市	同		H17 個展		—
4	猪瀬清四郎	彫刻		飯山市静間	東京都	H16 飯山の美術家展 H22 北信濃に原風景を見た美術家たち			有
5	内田寛	絵画		名古屋市	同	H21 五郷分校の作家たち展	H16 グループ H17 個展	五郷研修館使用	—
6	浦野吉人	絵画	油彩等	飯山市	長野市	H13 浦野吉人展 H16 飯山の美術家展 H22 北信濃に原風景を見た美術家たち			有
7	碓井昭男	工芸	陶芸	飯綱町	同		H23 個展		—
8	岡本邦治	絵画		飯山市	東京都				—
9	小黒三郎	工芸		東京都	倉敷市		H29 個展		
10	川口昇	絵画	油彩	飯山市	同	H16 飯山の美術家展		療養中	—
11	川口和平	写真		飯山市	長野市		H24 個展		—
12	含翠会	絵画	日本画	—	—	H11 含翠会展		長谷川青澄一門	—
13	北岡康隆	絵画	日本画	中野市	同				—
14	木原正徳	絵画	油彩	飯山市太田	山形県	H16 飯山の美術家展 H20 木原正徳・野口俊文二人展 H22 北信濃に原風景を見た美術家たち			—
15	栗田貞多男	写真	自然風景	長野市	同		H27 個展		
16	小橋城	写真	自然スポーツ	東京都	千葉県				
17	小林敬一	写真		飯山市常盤	同				—
18	小林野々子	絵画	行状等	長野市	同		H25 個展		—
19	小林宏	絵画	日本画	飯山市木島	山梨県	H22 北信濃に原風景を見た美術家たち			—
20	駒村久彌	絵画	油彩	飯山市	同	H12 駒村久彌展 H16 飯山の美術家展			有
21	小山オサム	絵画	油彩	飯山市	静岡県	H16 飯山の美術家展 H22 北信濃に原風景を見た美術家たち	H14 個展		—
22	齋藤一郎	絵画	和紙絵画	飯山市岡山	千葉県	H11 斎藤一郎展 H16 飯山の美術家展 H22 北信濃に原風景を見た美術家たち			有
23	酒井和子	絵画	水墨	飯山市柳原	東京都		H18 個展		—
24	柴田長俊	絵画	日本画	上越市	軽井沢町	H22 北信濃に原風景を見た美術家たち H25 祈りの風景柴田長俊展		飯山北高校卒業	有
25	関修	写真	人物/風景	飯山市	同		H22 個展		—
26	関智生	絵画		奈良県	名古屋市		H17 個展		—
27	瀬島匠	絵画		広島県因島市	東京都	H21 五郷分校の作家たち展	H16 グループ		—

## 作家一覧【現役】

\* 作家名50音順

\* 2018/2/20現在 飯山市美術館

No	作家名	種別		出身地	在住地	展示実績		備考	収蔵 有無
						企画展	ギャラリー展		
28	高橋まゆみ	—	創作人形	長野市	飯山市	H16 飯山の美術家展			—
29	滝純一	絵画	テンペラ等	木島平村	福岡県	H16 飯山の美術家展		飯山北高校卒業	—
30	田窪恭治	風景美術		愛媛県今治市	習志野市			H26飯山市内菓子店壁画等	—
31	田中渉	絵画	油彩	飯山市木島	同	H16 飯山の美術家展			—
32	千坂経悦	陶芸		宮城県	飯山市	H16 飯山の美術家展			—
33	中川岳二	木工		埼玉県	中野市	H29 中川岳二展 木々の色々			—
34	野口俊文	絵画	油彩等	木島平村	長野市	H20 木原正徳・野口俊文二人展 H22 北信濃に原風景を見た美術家たち		飯山北高校卒業	—
35	長谷川豊	工芸	陶芸	東京都	飯山市	H16 飯山の美術家展			—
36	馬場剛史	絵画		中野市	同		H15 個展		—
37	原田卓三	絵画		愛知県	大阪府	H21 五郷分校の作家たち展	H16 グループ		—
38	藤岡牧夫	絵画		木曾谷	東京都				—
39	藤巻翔	写真	フォト・ア フォト・グラフィ	飯山市	神奈川県		H26 個展		—
40	松澤芳宏	絵画	油彩等	飯山市 静間	同	H16 飯山の美術家展 H24 北信濃逍遥の画家たち展			—
41	丸山高司	絵画	日本画	飯山市	同		H17 個展		—
42	丸山東子	絵画	日本画	サハリン 飯山育ち					—
43	宮本純夫	絵画		中野市	同				—
44	森川賢道	工芸	鍍金/茶道具	須坂市	京都府				—
45	森田千晶	和紙作品			埼玉県			和紙の仕事大賞	有
46	山田一道	絵画	アクリル	中野市	同				—
47	山田真巳	絵画	日本画	東京都	同				—
48	柳沢京子	絵画		北佐久郡 浅科村	長野市				有
49	柳澤秀紀	絵画	リアルイラスト	長野市 (旧豊野町)	長野市		H15 個展 H20 個展		—
50	吉越隆師	絵画	日本画 水墨画	飯山市常盤	同	H16 飯山の美術家展 H24 北信濃逍遥の画家たち展			—
51	米林 雄一	彫刻		東京都	小布施	H30 米林雄一展			有
52	鷲森秀樹	絵画	油彩	飯山市					有

# 作家一覧【物故】

\* 作家名50音順

\* 2015/6/19現在 飯山市美術館

No.	作家名	種別		出身地	活動拠点	展示実績		備考	収蔵有無
						企画展	ギャラリー展		
1	相原求一朗	絵画	油彩	川越市	同	H10 相原求一朗展 H18 相原求一朗展		遺族川越市在住	有
2	岩上隆静	絵画	水彩	飯山市	同	H14 岩上隆静展 H16 飯山の美術家展 H24 北信濃逍遙の画家たち展	H26 追悼展		有
3	岡田千春	絵画	油彩	飯山市	同	H16 飯山の美術家展 H24 北信濃逍遙の画家たち展		遺族飯山市在住	有
4	岡登 貞治	絵画	油彩	飯山市	東京都			常設展示	有
5	小野沢健一	彫刻	木造	飯山市	神奈川県	H16 飯山の美術家展		H26. 5. 31逝去	有
6	大塚可南	書道	—	飯山市木島	同	H16 飯山の美術家展			—
7	金木寿遷	書道	—	飯山市	同	H16 飯山の美術家展	H23 個展 H23 新収蔵品展	遺族飯山市在住	有
8	河野文夫	絵画	油彩	佐賀県	野沢温泉村	H15 河野文夫展			—
9	岸田陸象	彫刻	仏像	飯山市				遺族埼玉県在住	—
10	児玉果亭	絵画	日本画	山ノ内町					—
11	小林起一	コンセプト		飯山市	同	H16 飯山の美術家展	H22 追悼展 H23 新収蔵品展		有
12	佐久間雲窓	絵画	日本画		飯山市			飯山藩士の子息	—
13	佐藤武造	絵画	水彩/漆画	飯山市	住* 以東京都	H12 佐藤武造展	H20	遺族東京都在住	有
14	武田雲室	絵画	日本画					市内光蓮寺出身	—
15	武村次郎	絵画	油彩	横須賀市				飯山の風景画多数制作	有
16	寺瀬黙山	彫刻	木造/乾漆	飯山市	中野市			遺族中野市在住	有
17	白隠	絵画	禅画	駿河国	同	H12 特別企画展白隠禅師		正受庵で修業	—
18	長谷川青澄	絵画	日本画	飯山市	東大阪市	H9 長谷川青澄展Ⅰ・Ⅱ H10 長谷川青澄展Ⅲ H11 含翠会展(青澄画塾展) H16 飯山の美術家展 H17 画人長谷川青澄追悼展 H19 長谷川青澄挿絵原画展 H23 画人長谷川青澄の世界 H26 没後10年記念展	H16 個展 H20 個展 H23 新収蔵品展	遺族東京都在住	有
19	本多焦風	絵画	日本画					飯山に疎開	有
20	松田暢夫	絵画	油彩	飯山市	大町市				—
21	村山弘	絵画	油彩	飯山市	名古屋市		H23 新収蔵品展		有
22	三ツ井愛之輔	絵画						飯山中学教員	—
23	宮澤鉄夫	絵画	日本画	飯山市	東京都	H9 宮澤鉄夫企画コーナー			有
24	箕口博	彫刻	木造	飯山市		H23 箕口博彫刻展	H19 個展 H23 新収蔵品展	遺族滋賀県在住	有
25	山本直治	絵画	油彩	大阪府	大阪府			飯山の風景画多数制作	有
26	森本香谷	絵画						飯山中学初代美術教師	(有)
27	山田晃	絵画	水彩	中野市					—
28	横井弘三	絵画	油彩	飯田市					有



# 2019年度 飯山市美術館・伝統産業会館開館予定

### 4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

### 5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

### 6月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

### 7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

### 8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

### 9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

### 10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

### 11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

### 12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

### 1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

### 2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

### 3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

■ 休館日(毎週月曜日、ただし祭日の場合はその翌日、年末年始12/29-1/3、展示替え等)

- 企画展(9/1-11/4)
- 飯山市民芸術祭 4/13-4/14 (市民の作品展示、入館無料)
- ワークショップ
- ギャラリートーク
- 奥信濃特産まつり 7/ 入館無料
- ギャラリー展
- 移動展(11/23-12/8)

[入館料] 大人300円、小中学生200円、20名以上のときはそれぞれ100円引き

[交通] JR飯山駅下車徒歩約10分、上信越自動車道豊田飯山ICから約10分

[所在地] 〒389-2253長野県飯山市大字飯山1436-1

[連絡先] 飯山市美術館(0269)62-1501・飯山市伝統産業会館(0269)62-4019